

# ふるさとふちゅう

## 【第1回】ころびいしのまち

# 再 発 見

今月から、町の歴史や文化、自然などを通して「まちをより身近に感じ、暮らしを楽しめるように」との思いをこめて、文化財保護審議会委員が中心となって執筆する連載「ふるさとふちゅう再発見」を開始します。連載をきっかけに、ふるさとふちゅうを一緒に再発見してみませんか。

府中大橋東端、新幹線高架下に大きなオブジェがあります。オブジェには「ころびいしのまち」と記されていますが、その由来を知らない人も多くなってきました。

このオブジェは、平成8年度に開催された「第51回ひろしま国体」の歓迎ムードを盛り上げ、終了後には町のシンボルにと作成されたものです。名称の「ころびいしのまち」発想の原点は、水分峠にある地名「石ころび」にあります。

町では、過去の洪水の度に「石ころび山」から「ころび石」が流れ、被害を受けてきました。しかし人々は、その石を利用して石積等を作り、災害を克服してきました。こうした歴史を背景に、「ころび石」は動くことにより新たな発展と未来を形成する、府中町もそうした町でありたいという思いを表現しています。

オブジェ制作のきっかけとなったひろしま国体。県内各地で開催されたこの大会において、町内では、揚倉山健康運動公園を会場に成人男子サッカーが行われました。

当時の大会の様子が「報告書」には次のように記されています。

式典前の集団演技は、安芸府中太鼓かつば連びびき会・民謡いなほ会・町内保育園児

による「国体呼び込み太鼓」で始まり、府中中学校によるマスメーム、町内6幼稚園児のマスメームで終了した。式典の音楽は、府中中吹奏楽部、町内コーラスグループが務め、演奏と歌を披露した。また、大会旗・プラカードなどの保持は、府中中女性生徒が務め、大役を果たした。式典終了後の集団演技は、第一部「夢」を町内全小学校6年生、第二部「チャレンジ」を緑ヶ丘中学校が演じた。(中略)表彰式の吹奏楽隊は、緑ヶ丘中吹奏楽部が務め、最後を見事に締めくくった。

町を挙げての一大行事となったあの大会から20年以上。今回の記事で当時を思い出していただければ幸いです。府中町文化財保護審議会委員

菅 信博

健康に役立つ情報を紹介

## 朝パッ君の耳より情報

おうちで楽しく運動！朝パッ君体操


固健康推進課 ☎286-3257

よく食べ・よく眠り、そしてしっかりと体を動かすこと。毎日を元気に過ごすためのポイントです！  
「朝パッ君体操」は、アルプス一万尺の音楽に乗って、子どもから大人まで誰でも楽しく運動できます。  
朝パッ君体操をすると、カラダもココロもポカポカになりますよ♪

全身のびのび



ねじって伸ばして  
「おむすびちょうだい」♪



ぐるぐる回して  
「パッ」



**朝パッ君と一緒にやってみよう！**

朝パッ君が実際に体操している動画を町PR動画サイトに公開中！

ぜひ一緒にやってみてね♪

